

I 「生きる力」を育む学校教育の充実

1 施策の体系

施策が目指す方向 (中項目)	施策推進のための主な取組等 (小項目)
(1) 学校教育の充実	ア 学校経営の充実 イ 確かな学力を保障する教育の充実 ウ 情報教育の推進 エ 心の教育の充実 オ 健やかな体を育む教育の充実 カ 幼保小連携の充実 キ 特別支援教育の推進 ク 学校法人への支援 ケ 就学等支援の充実
<関連する奥州市版SDGs>	     
(2) 社会の変化に対応した教育環境の推進	ア 安全・安心な教育環境の充実 イ 教育施設の適正化
<関連する奥州市版SDGs>	     

2 施策が目指す方向

(1) 学校教育の充実

ア 学校経営の充実

まなびフェストの作成と活用による目標達成型の学校経営を継続します。
また、学校運営協議会を設置し、より充実した学校経営を目指します。

イ 確かな学力を保障する教育の充実

児童生徒一人ひとりに確かな学力を保障するため、諸調査による児童生徒の実態把握、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善を推進し、「わかる」「できる」授業づくりを目指します。

適切な教育課程の編成、学習環境の整備を行います。諸調査による児童生徒の実態把握、協働的な学びを活かした授業改善と教員の指導力の向上を図る研修を充実させます。

ウ 情報教育の推進

情報教育環境の整備を進めるとともに、教育現場や情報機器に精通した教員のスキルアップを図るため研修会等を実施します。また、学校のICT支援体制を整えICTを有効活用した効果的な学習を進めます。

エ 心の教育の充実

人とのかかわりを大切にし、自己肯定感を養う活動を推進します。また、不登校児童生徒に対して学校と関係機関が連携・協力して支援を行う体制を充実させるとともに教育相談の充実に努めます。

オ 健やかな体を育む教育の充実

適切な運動や健康・安全についての理解を通し、健康の保持増進と体力の向上に努めるとともに、食育の推進や地域の食材を取り入れた学校給食の実施、健康診断結果を踏まえた保健指導などを通して、心の健康を含めた健康教育を推進します。

体力の維持・向上を図る取組を推進します。また、望ましい生活習慣の形成を目指すために、地域の食材を取り入れた学校給食の実施、健康診断結果を踏まえた保健指導などを実施します。

カ 幼保小連携の充実

「奥州市接続カリキュラム」を基に、各園・各学校が接続期のカリキュラムを作成し、幼保小の円滑な接続を図ります。また、幼保小の円滑な接続に加え、幼児教育施設における保育・教育の更なる質の向上を目指し、幼児教育推進事業を実施します。

市内の先進的な実践を基に、各小学校を中心とした「接続カリキュラム」による取組を推進し、幼保小の円滑な接続を図ります。また、幼保小の円滑な接続、教員の資質向上を目指し、幼児教育アドバイザー事業や拡大園内研修を実施します。

キ 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒に対して、特別支援教育コーディネーターを中心とした教育相談体制を整えます。併せて、支援計画を作成して、一人ひとりの教育的ニーズに対応する指導・支援体制を整えます。

ク 学校法人への支援

学校法人が設置する私立学校の運営経費や特色ある学校づくり、施設整備事業に対して補助金を交付します。

ケ 就学等支援の充実

教育機会の均等化を図るため、経済的理由や地理的条件等により就学が困難な児童・生徒に必要な補助や支援を行います。

また、奥州市奨学基金を活用し、社会に有用な人材を育成するため、経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金を貸与するとともに、奨学金の返還が滞っている者については、適時適切に納付勧奨及び相談を実施し、滞納の解消に努めます。

(2) 社会の変化に対応した教育環境の推進

ア 安全・安心な教育環境の充実

耐震性能が低い校舎などの耐震改修を計画的に進めるとともに、教育施設の快適性を向上させるため、トイレの洋式化率を高め、冷暖房施設の改修や室内照明のＬＥＤ化を進めます。また、日常の施設管理に努め、改修や修繕が必要となった場合は、優先順位を示して計画的な改修に取り組めます。

なお、工事などに際しては、奥州市シックススクールマニュアルに基づき、安全な教育環境を整備します。

イ 教育施設の適正化

老朽化した教育施設及び学校給食施設について、適正な規模を検討するとともに、計画的な改築を進めます。

集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて児童生徒一人ひとりの思考力や表現力、判断力、問題解決能力等の資質・能力を育成し、社会性や規範意識を身に付けさせるために、学校再編を推進し規模の適正化に努めます。

3 施策の達成度合いを測る指標

指 標 名	単位	現状値	目 標 値		指標に関する説明等
		R2年度	R6年度	R8年度	
標準学力検査	—	小5：106 小6：104 中2：97	小5：106 小6：105 中2：99	小5：106 小6：106 中2：100	全国指標を100とした対比
授業中にICTを活用して指導する能力を持つ教員の割合	%	63	70	80	児童生徒の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料等を効果的に提示できる教員の割合（全4項目の平均）
児童生徒のICT活用を指導する能力を持つ教員の割合	%	68	75	80	学習活動に必要な、コンピュータの文字入力やファイル操作などを児童生徒が身に付けるよう指導することができる教員の割合（全4項目の平均）
岩手県学習定着度状況調査 ※1	%	授業がわかる 小5：50 中2：35	授業がわかる 小5：52 中2：38	授業がわかる 小5：55 中2：40	4肢選択のうちの最も肯定的な回答をした児童生徒の割合（小：国・算、中：国・数・英）
全国学力・学習状況調査	%	自己肯定感 小6：79.2 中3：75.0 (元年度※2)	自己肯定感 小6：80.6 中3：75.0	自己肯定感 小6：82.0 中3：77.0	「自分にはよいところがある」という設問に肯定的な回答をした児童生徒の割合
不登校児童生徒の出現率	%	小：0.68 中：3.19	小：0.65 中：3.15	小：0.60 中：3.10	
全国体力・運動能力調査	%	総合評価 小5：110 中2：109 (元年度※3)	総合評価 小5：110 中2：109	総合評価 小5：110 中2：109	総合評価（A・B・C）の全国指標を100とした対比
肥満傾向児の割合	%	小5：14.11 中2：13.24	小5：12.99 中2：11.80	小5：11.86 中2：10.36	R8年度末目標値は岩手県学校保健統計調の全国平均
幼稚園施設の耐震化実施率（Is=0.7以上）	%	75.0	100.0	100.0	
中学校校舎の耐震化実施率（Is=0.7以上）	%	92.6	92.6	100.0	
教育施設トイレの洋式化率	%	47.4	56.4	60.0	対象総数：1,546基

- ※1 岩手県学習定着度状況調査に係る指標「授業の内容はよくわかる」について
「①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえば当てはまらない
④当てはまらない」の4つの選択肢のうち、「①当てはまる」と回答した児童生徒の割合を指標としていること。
- ※2 R2は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったため、R1の数値（小6 79.2%、中3 75.0%）を基に目標値を算出した。
- ※3 R2は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったため、R1の数値（小5 110%、中2 109%）を基に目標値を算出した。

Ⅱ 豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進

1 施策の体系

施策が目指す方向 (中項目)	施策推進のための主な取組等 (小項目)
(1) 生涯にわたる学習活動への支援	ア 生涯学習事業の推進 イ 地域支援体制の構築 ウ 家庭教育の支援 エ 青少年育成の推進 オ 生涯学習施設の適正な維持管理
<関連する奥州市版SDGs>	 
(2) 本に親しむ活動の推進	ア 子ども読書活動の推進 イ 図書館利用を通じた課題解決支援 ウ 図書資料・視聴覚教材の整備充実 エ 図書館の適正な維持管理
<関連する奥州市版SDGs>	
(3) 芸術文化の推進	ア 市民の芸術文化活動の推進 イ 文化会館の適正な維持管理
<関連する奥州市版SDGs>	

2 施策が目指す方向

(1) 生涯にわたる学習活動への支援

ア 生涯学習事業の推進

市全域での生涯学習への取組や、各地域にて積極的に取り組んでいる生涯学習事業を広げていくために、各種取組を一体的に進めます。

市民の多様な学習ニーズに対応するために、関係機関や団体と連携して、多様な学習機会を提供できる体制を充実します。

イ 地域支援体制の構築

地区振興会等の企画運営する地域課題の解決に向けた生涯学習事業等が効果的に実施できる体制を整備するため、人材育成等各種研修会を開催するとともに、これまで培ってきた知識や経験を持った人材の活用を進めます。

ウ 家庭教育の支援

家庭環境や地域社会の変化により複雑化・多様化する課題の解決が図れるよう、学習機会の提供や学習活動の支援などにより、家庭での教育力の向上を図ります。

エ 青少年育成の推進

地域の中で子どもたちが心豊かで健やかに育つことができる環境づくりを目指し、岩手県教育振興運動と協調しながら、家庭（子、保護者）、地域、学校、行政の連携を強化するとともに、青少年の社会参加・体験活動を支援し地域コミュニティの活性化を推進します。

オ 生涯学習施設の適正な維持管理

生涯学習施設の安全管理や維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

(2) 本に親しむ活動の推進

ア 子ども読書活動の推進

読書による豊かな情操と自由な想像力の習得が、社会の変化への対応や様々な課題の解決の一助となるよう、「奥州市子どもの読書活動推進計画」に基づき、図書館や親子ライブラリー「えほんの森」、読み聞かせ活動等を通じ、幼少期から本に親しむ事業の展開に努めます。

また、読書活動を支えるボランティア等人材を育成し、その活動を支援します。

イ 図書館利用を通じた課題解決支援

各種調査活動における相談業務の実施、図書に関する情報の提供、行政諸課題や利用者ニーズを反映した企画展の開催等により、市民が抱える課題の解決を支援します。

ウ 図書資料・視聴覚教材の整備充実

図書の蔵書充実と利用者にとって効果的な配置に努めるとともに、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会の事業を活用した視聴覚教材の充実に努めます。

エ 図書館の適正な維持管理

図書館の維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

(3) 芸術文化の推進

ア 市民の芸術文化活動の推進

幼少期から優れた芸術文化の鑑賞や参加機会を提供することで子どもの情操を養い、芸術文化活動の発展を支援します。

また、奥州市芸術文化協会をはじめとする関係機関・団体などと連携しながら、芸術文化活動環境の醸成に努めます。

さらに、市民の自主性を持った芸術文化活動の発表や鑑賞機会が、新たなファンを創造する循環型の活動を支援します。

イ 文化会館の適正な維持管理

文化会館の安全管理や維持修繕などにより、適正な維持管理に努めます。

3 施策の達成度合いを測る指標

指 標 名	単位	現状値	目 標 値		指標に関する説明等
		R2年度	R6年度	R8年度	
社会教育講座受講者数対総人口比率	%	18.41	53.0	55.0	R1の実績値に回復させることを目指します。 R1 : 55.97%
図書貸出利用者総数対総人口比率	%	82.84	85.0	90.0	R1の実績値に回復させることを目指します。 R1 : 91.87%
市民一人当たり図書等貸出冊数	冊	5.0	5.1	5.1	現状維持
文化会館利用者対総人口比率	%	95.5	240.0	240.0	R 1 の実績値に回復させることを目指します。 R1 : 241.8%

Ⅲ 次代をつむぐ歴史遺産の保存と活用

1 施策の体系

施策が目指す方向 (中項目)	施策推進のための主な取組等 (小項目)
(1) 歴史遺産の公開と活用	ア 国指定史跡名勝の公開活用 イ 歴史的建造物等の公開活用 ウ 先人顕彰の推進 エ 文化財施設による歴史遺産の公開活用 オ 文化財施設の再編統合
<関連する奥州市版SDGs>	  
(2) 文化財の調査研究の推進	ア 歴史的建造物の調査研究 イ 歴史資料等の調査・研究の推進 ウ 埋蔵文化財発掘調査 エ 世界文化遺産拡張登録の推進
<関連する奥州市版SDGs>	  
(3) 文化財の保存と管理	ア 有形文化財の保存と管理 イ 民俗文化財の保存と育成支援 ウ 史跡・名勝・天然記念物の保存と管理 エ 文化財施設の資料・環境整備
<関連する奥州市版SDGs>	 
(4) 文化財保護体制の充実	ア 学芸指導体制の強化 イ 文化財関係機関との連携強化
<関連する奥州市版SDGs>	 

2 施策が目指す方向

(1) 歴史遺産の公開と活用

ア 国指定史跡名勝の公開活用

6ヶ所の史跡（大清水上遺跡、角塚古墳、胆沢城跡、長者ヶ原廃寺跡、白鳥館遺跡、接待館遺跡）と、名勝1ヶ所（イーハトーブの風景地）の環境整備及び公開活用に取り組めます。必要に応じ整備活用指導委員会などを設置し、必要な整備を検討します。

胆沢城跡については、整備した歴史公園の活用を進めるほか、商業観光部門と連携を図り活用事業を展開します。

角塚古墳については、保存活用計画検討委員会を設置し、保存活用計画を策定し、計画に基づき活用・整備を行います。

白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡については、整備検討委員会を設置し、来訪者の利便

を図る整備を行います。

イ 歴史的建造物等の公開活用

水沢地域の武家住宅資料館（旧内田家住宅、後藤新平旧宅、高野長英旧宅）、旧安倍家住宅及び斎藤實記念館（斎藤子爵水沢文庫）、江刺地域の旧後藤家住宅と旧岩谷堂共立病院、前沢地域の旧後藤正治郎家住宅を公開します。

ウ 先人顕彰の推進

市民が自ら実施する先人顕彰活動を支援します。また、記念館等で保管されている先人関係資料を整理し、先人顕彰の意識啓発のため企画展示を実施します。また、地域の先人について資料収集を進め、情報発信に努めます。

エ 文化財施設による歴史遺産の公開活用

博物館、記念館、郷土資料館などの文化財施設の学校利用を図り、歴史遺産を人づくり資源として活用します。

また、市民の文化財に対する意識がさらに高まるように、企画展示や巡回展示、教育普及事業を実施します。

さらに、ホームページ（奥州市Web博物館）により、デジタル媒体での資料目録等の公開を進めるなど、歴史文化情報を幅広く発信します。

オ 文化財施設の再編統合

効果的な公開活用を行うため、老朽化が進んだ文化財施設については、新たな施設の整備について検討します。

(2) 文化財の調査研究の推進

ア 歴史的建造物の調査研究

歴史的建造物の調査・研究を行い、記録保存を図ります。

市が所有する旧安倍家住宅、旧高野家住宅（古稀庵）については国登録有形文化財への登録を進めるほか、市民が所有する歴史的建造物のうち重要なものについては国登録有形文化財に登録し、所有者による保存活用を支援します。

イ 歴史資料等の調査・研究の推進

研究機関等との連携を基に、市内の古文書等歴史資料の調査・研究を進めて地域の基礎データを集積し、市の歴史的・文化的特色を発信していきます。併せて、市民との協働により文化財施設で収蔵している古文書の解読を行い、郷土の歴史を解明して公開します。

美術工芸品等の指定候補物件調査を行い、市指定を行うほか、重要なものについては国・県など上位指定し、保存と活用を図ります。

ウ 埋蔵文化財発掘調査

胆沢城跡をはじめとした国指定史跡等の発掘調査を必要に応じ実施し、その結果については広く市民に公開します。

開発行為等に伴って消滅する恐れのある遺跡の調査を実施し、記録保存等の措置を講じます。

エ 世界文化遺産拡張登録の推進

岩手県、一関市、平泉町と連携し「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」の拡張登録に係る調査研究を進めるとともに、「川湊」が想定される白鳥館遺跡と、長者ヶ原廃寺跡などが位置する衣川流域遺跡群の解明に向けた発掘調査を行い、必要な史跡追加指定を行います。また、遺跡の価値について周知を図ります。

(3) 文化財の保存と管理

ア 有形文化財の保存と管理

指定文化財パトロールなどにより有形文化財の保存状態を確認し、所有者などに対して適切な指導を行い、必要に応じて修繕の支援を行います。

重要文化財旧高橋家住宅については、保存活用基本構想に基づき、修理委員会を設置し、本格的な修繕計画を策定します。

イ 民俗文化財の保存と育成支援

郷土芸能祭の開催など、無形民俗文化財保持団体に活動発表及び担い手の育成・確保の機会を提供するとともに、用具更新に対する補助を行い、無形民俗文化財の伝承の支援を行います。

指定文化財パトロールなどにより有形民俗文化財等の保存状態を確認し、所有者などに対して適切な指導を行い、必要に応じて修繕の支援を行います。

ウ 史跡・名勝・天然記念物の保存と管理

市内の史跡・名勝・天然記念物を確実に保存し、次世代へと継承していくために適正な保存対策を進めます。また公開・活用を前提とした適切な環境保全に努めます。

指定文化財パトロールなどにより史跡・名勝・天然記念物の保存状態を確認し、所有者などに対して適切な指導を行います。

エ 文化財施設の資料・環境整備

文化財を適切に保存管理するための収蔵施設について、文化財施設の整理統合設置検討に併せて整備の検討を行います。

また、文化財資料等安全管理プログラムにより、市所蔵文化財の保存環境の改善を図ります。

(4) 文化財保護体制の充実

ア 学芸指導体制の強化

専門家による文化財保護審議会を開催し、文化財の指定と指定解除、文化財の保存活用に関する重要事項について諮問し、適切に指定や管理を行います。

学芸員を専門研修に計画的に派遣して専門知識と技能向上を図り、歴史遺産の保存活用事業の内容を充実させます。また、点検、学術的支援、保存環境指導を行い、文化財の保護に努めます。

イ 文化財関係機関との連携強化

文化財の保存と活用を円滑かつ強力に進めるため、関係機関との連携を強化します。

3 施策の達成度合いを測る指標

指 標 名	単位	現状値	目 標 値		指標に関する説明等
		R2年度	R6年度	R8年度	
文化財施設利用者数	人	37,913	55,000	70,000	R1の実績値まで回復を目指します。※1
奥州市Web博物館の閲覧カウント数	回	1,599	2,000	2,400	50%増を目指します。
国登録有形文化財(建造物)の登録件数	棟	1	1	2	市が所有する歴史的建造物のうち2件の新規登録を目指します。 (目標値は、R4～8の累計)
新規文化財指定件数	件	0	3	5	年平均1件以上の新規指定を目指します。 (目標値は、R4～8の累計)
古文書解説集の刊行	冊	0	1	2	2年毎(奇数年度)に1冊刊行します。 (目標値は、R4～8の累計)
郷土芸能祭等観客数	人	629	1,300	1,300	郷土芸能祭等(無形民俗文化財の保存活用と育成を目的として江刺・前沢(水沢、衣川の団体含む)・胆沢の各会場において開催している発表)の観客数を増加させ、H30実績値まで回復を目指します。 ※2
文化財指定解除件数	件	0	0	0	不適切な管理等により指定要件を失い指定解除される文化財が生じないよう、適切な保存管理指導や修繕補助等を行います。(0件で維持すべきものとなります。)
文化財保護審議会に対する諮問件数	件	3	3	5	年平均1件以上の諮問を目指します。 (目標値は、R4～8の累計)

※1 R2の利用者数は新型コロナウイルスの影響により大幅に減少したため、R1の数値(70,185人)を基に目標値を算出した。

※2 R1、R2は新型コロナウイルスの影響で観客数が大幅に減少したため、H30の数値(1,300人)を基に目標値を算出した。

IV 潤い豊かなスポーツライフの推進

1 施策の体系

施策が目指す方向 (中項目)	施策推進のための主な取組等 (小項目)
(1) ライフステージに応じた スポーツ活動の推進	ア 全市事業の推進 イ コミュニティスポーツの支援 ウ スポーツに接する機会の提供 エ 顕彰活動
<関連する奥州市版SDGs>	 
(2) 競技水準の向上	ア 選手育成、強化の支援 イ 指導者養成
<関連する奥州市版SDGs>	 
(3) スポーツを支える基盤の 整備	ア 施設の適正な配置と維持・管理 イ スポーツ推進委員との連携 ウ 関係団体との連携
<関連する奥州市版SDGs>	

2 施策が目指す方向

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

ア 全市事業の推進

全市民が参加できるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツ活動を推進します。また、市民の様々なニュースポーツ需要に応えるための事業を展開します。

イ コミュニティスポーツの支援

スポーツ団体が主催するスポーツ活動に対する支援を行うほか、スポーツ推進委員との連携のもとに地域のスポーツ活動を支援します。あわせて、地域の連帯を深め、コミュニティづくりに寄与するため、積極的、かつ、主体的に取り組めるような環境づくりを進めます。

ウ スポーツに接する機会の提供

各種スポーツに関する情報を広報、ホームページ、報道機関、関係団体を通じて周知することで、スポーツに接する機会を提供します。

エ 顕彰活動

大会成績優秀者やスポーツ振興の功労者等を表彰し顕彰することで、広く市民にスポーツへの関心と意欲の喚起を図ります。

(2) 競技水準の向上

ア 選手育成、強化の支援

トップアスリートの輩出を目指し、幼児期からスポーツに親しむ機会の提供、優秀な指導者の調査・招聘促進をし、競技水準の向上を図ります。

イ 指導者養成

各種指導者講習会を開催し、指導者の質の向上を図ります。

(3) スポーツを支える基盤の整備

ア 施設の適正な配置と維持・管理

必要な施設を見極めて配置し、施設の適正な維持、管理に努めます。

イ スポーツ推進委員との連携

市の事業をスポーツ推進委員と連携し、円滑に実施します。

コミュニティスポーツ活動をスポーツ推進委員が地域の団体などと連携し主体的に進めます。

ウ 関係団体との連携

スポーツ団体の事業運営が適正に行われるよう支援します。総合型地域スポーツクラブの設立、運営を支援します。

3 施策の達成度合いを測る指標

指 標 名	単位	現状値	目 標 値		指標に関する説明等
		R2年度	R6年度	R8年度	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	58.3	65.0	65.0	国の目標65%
新体力テスト総合判定率	%	50.1	45.0	47.0	市内小学5,6年生の総合判定がA,Bの割合
スポーツ少年団加入率	%	16.2	22.0	24.0	加入者数/小中児童生徒数
国民体育大会出場者数	人	1 ※	40	40	個人、団体を併せた出場者数 (H27: 26人)
県民体育大会優勝者数	人	6 ※	67	67	個人、団体を併せた優勝者数 (H27: 56人)
総合型地域スポーツクラブ数	団体	5	5	5	設立よりも育成支援を重視
スポーツリーダーバンク登録者数	人	25	27	28	現状値より概ね10%増
体育施設利用者数	人	382,699 ※	650,000	650,000	R1の実績値より概ね5%増 (R1: 576,984人)
学校施設開放利用者数	人	116,741 ※	148,000	148,000	R1の実績値より概ね5%増 (R1: 141,417人)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による